

## 2023年度 自己評価報告書

学校法人カトリック・マリスト会学園  
認定こども園 葛カトリック幼稚園

### 1. 本園の教育・保育目標

カトリック精神に基づいた「愛の精神」を、幼児の人格形成の基本におき、将来にわたって主体的に生きる人となる基礎を養う。

思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども、自分で考え行動し最後までやり遂げる子ども、隣の人を大切に自分も大切にすることに育つことを目標とする

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自己に対する基本的信頼感を育むための教育の実践
- ・モンテッソーリ教育と宗教教育の充実
- ・危機管理と、遊具、用具の安全管理
- ・食育の充実

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
・自己に対する基本的信頼感を育むための教育の実践	・「ここが好き」という環境に対する基本的信頼感の元、新しいことに挑戦する気持ちを大切にし、幼児の個々の要求にあった、教材、教具を提供するよう取り組んだ。 ・発達過程に則した援助の在り方、とらえ方について、年間を通して専門分野から分析指導を受け、全職員で周知した。 ・何かを達成した時に、「自分でできた」喜びや、「自分が好き」と感じるよう、見守って待つ場面について、担任、フリー職員と共に確認し深め合った。 ・ことばの「言い換え」や肯定的な伝え方を意識し、表情や、子どもに向き合う姿勢を、状況に応じて対応できるよう研究を深めた。
・モンテッソーリ教育と宗教教育の充実	・研修や実践を通して個々に積極的に取り組む事ができた。 ・全国モンテッソーリ協会近畿支部研修会における実践報告の機会があり、職員全体で研究し発表ができた。 ・「宗教」の話の中から、自然観察へとつながり、園児からの想いや発言で発展させていく保育につながった。
・危機管理と、遊具、用具の安全管理	・危機管理マニュアルの定期的な見直しを行う。 ・保護者に、「保健ニュース」を配信し感染症や、流行の疾患などの注意喚起を引き続き行った。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対応訓練については、あらゆる状況を想定するよう計画が必要。</li> <li>・木製遊具で安全点検後に「棘」が刺さる事が複数回あり、目視で気づけない箇所もあるため、表面を磨く作業を依頼した。</li> <li>・毎日の清掃時、点検し、週一回はねじや器具を使って用具、遊具を点検。</li> </ul>
食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の収穫、調理を通して、興味を持って意欲的に取り組む姿があった。</li> <li>・給食が出来上がるまでの工程を、紙芝居や栄養士さんの話を通して知る。多くの人の手を経ていただく事への感謝の気持ちを持つ機会となった。</li> <li>・地産地消について学び、より身近に感じることで苦手なものも口にすることが出来るなど、関心が高まった。</li> <li>・餅つきの実施により、園児だけではなく保護者の関心の高さを知り、行事は工夫しながら楽しんで取り組む事の良さを再認識できた。</li> </ul>

#### 4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

良	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育、保育において、子どもをどう見るか、子どもをどう援助するのかという根本的な点について共通理解することに重点を置いた。</li> <li>・行事を幼稚園、園児、保護者と全体で取り組み、楽しみ、協力し充実感を味わい、次に向けての意欲につながった。</li> <li>・能登半島地震以降、必要な備蓄品の充実を図った。</li> <li>・県の交通安全教室が就学前園児対象だったため、他の学年の指導は担任から伝えしたが、実践がなかったので、今後は全園児が参加できる機会を設ける。</li> </ul>
---	--

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育時間後の保育内容の充実に取り組む。興味を持つような教材や、自然の中で子どもたちが発見し自然が教材となるような取り組みを進める。</li> </ul>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園での子どもたちの様子を保護者に伝える方法を工夫し、保護者の不安を軽減できるよう情報発信の方法について工夫が必要である。</li> </ul>
保育所・小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の保育所との合同研修や連携。</li> <li>・園での活動を通じた幼児の学びが小学校につながっていくよう共有できるような取り組み。</li> </ul>

## 6. 関係者の評価

- ・どの先生も子どもたちを見守り、信じ、向き合ってくださいる中でのびのびと過ごしながら心もからだも成長することができました。 また保護者に対してもいつもあたたかい言葉をかけてくださいました。
- ・園長先生をはじめ先生方が、いつも子どもたちを中心に考えてくださっていることが伝わり安心して通わせることができました。
- ・園では英語やお茶のおけいこもあり楽しんで学ぶことができました。
- ・運動会やクリスマス会など行事で何かを決めるときには子供たちが自分で考え子どもたちで話し合っ  
て決める、まいにちの「おしごと（自由選択活動）」の時間も自分で何をするかを決めてするという  
家では見ることはできない姿を見せてもらうことができました。
- ・園の森ではたくさんの木々や自然に触れ四季を肌で感じるすることができました。
- ・毎日のお祈りを通じてやさしいところ、人を想う気持ちを学ぶことができました。
- ・敷地内で調理されているあたたかい給食がおいしいと喜んでいました。またいろんな工夫をして食  
育にも力を入れてくださっていました。子どもたちにも食のお話しをしてくださり学びがありました。
- ・夏休みなどの長期休暇中の預かり保育も保護者の働き方に合った日程（連日や単発など）で預かっ  
てもらえ助かりました。

< 保護者代表 >